

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えびの支援センター びーだま		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 30日		令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各種療法士をはじめ様々な資格をもつスタッフがいることで多角的な療育を提供していることです。	情報の共有をスタッフ間で行っています。	研修などを通じて、スタッフの資質の向上を図りたいです。
2	毎日毎月の活動内容が充実するよう、季節に合わせた行事も大事にしています。	月案を作成し、一人一人のレベルに合わせた活動を行っています。	ミーティングで活動の反省点を話し合っていますが、全員でもっと掘り下げて考えていきたいです。
3	学校の先生方や関係機関との連携が図れています。	些細なことでも相談員に話し、担合等を開催してもらうことで情報共有が来ています。	今後も学校や関係機関との連携を図っていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境が整えられていません。完全バリアフリーではありません。	施設によっては部屋が区切られているため、構造化ができていません。	出来る範囲でバリアフリーや構造化を考えていきたいです。
2	ご家族に対する支援(ペアレントトレーニング)や父母会ができていませんでした。	新型コロナウイルスに限らずとも、インフルエンザなど感染症の拡大と懸念の高まりがあり、予定を組んではいても開催できないことがありました。	計画を中止にするのではなく、延期という判断も取りうるかと考えています。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えびの支援センター びーだま		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 30日		～ 令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 7日		～ 令和7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士・作業療法士・理学療法士によるケース会議を行うことで、一人一人の児童に充実したアドバイスができます。	訪問員が一人で考えるのではなく多職種のチームで話し合い解決を探っています。	児童発達支援事業所や放デイを利用している児童には、事業所職員と話し合い、困り感にフォーカスを当てて支援ができるよう話し合いの回数を増やしたいです。
2	事業所での様子を伝えることでより詳しい情報共有ができていますと感じます。	訪問先に行った際には、保護者様へも状況をお伝えしています。	訪問先の先生方と余裕をもって情報共有が出来るようなスケジュールを考えていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間の制約に追われて、各施設との連携や情報共有に綻びがある。	保育園・学校の先生方も熱意をもって教育に臨んでくださっている中で、スケジュールの制約が望ましい療育とコンフリクトする面があったのではないかと。	施設間でも使える連絡アプリなど検討したい。
2	訪問支援員の人数が少ないため新規児童の受け入れができていません。	訪問支援員の補充を必要としています。	情報共有と支援内容の確認のため、関係機関を含めた担当者会議が必要だと思います。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えびの支援センター びーだま		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 30日		～ 令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各種療法士をはじめ様々な資格をもつスタッフがいることで多角的な療育を提供していることです。	情報の共有をスタッフ間で行っています。	研修などを通じて、スタッフの資質の向上を図りたいです。
2	毎日毎月の活動内容が充実するよう、季節に合わせた行事も大事にしています。	月案を作成し、一人一人のレベルに合わせた活動を行っています。	ミーティングで活動の反省点を話し合っていますが、全員で もっと掘り下げて考えていきたいです。
3	学校の先生方や関係機関との連携が図れています。	些細なことでも相談員に話し、担会等を開催してもらうことで情報共有が来ています。	今後も学校や関係機関との連携を図っていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境が整えられていません。完全バリアフリーではありません。	施設によっては部屋が区切られているため、構造化ができていません。	出来る範囲でバリアフリーや構造化を考えていきたいです。
2	ご家族に対する支援（ペアレントトレーニング）や父母会ができていませんでした。	新型コロナウイルスに限らずとも、インフルエンザなど感染症の拡大と懸念の高まりがあり、予定を組んではいても開催できないことがありました。	計画を中止にするのではなく、延期という判断も取りうるかと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 えびの支援センター びーだま

公表日 令和 7 年 3 月 28 日

利用児童数

20

回収数

11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	1		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	2	6		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	1		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1	0	1			
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	2			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	1	通所日数が増えるとありがたかったです が、いつも満足しております。ありがとうございます。	中々ご期待に沿えず申し訳ありません。温かいお言葉をいただき誠にありがとうございました。より良いサービス提供を目指してこれからも精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		えびの支援センター びーだま					公表日	令和 7年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			感染症の流行もあり見合わせた。来年度は行いたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			コロナの影響から地域住民を事業所の行事に招待できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				面談の際にお話しする予定
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7 年 3 月 28 日

えびの支援センター びーだま

利用施設数

20

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・助言いただいた件に関しては、とりえず参考に取り入れ、必要に応じて継続、中止という流れでしたが、一つの方法として十分なご意見をいただけたと思います。 ・本児の声掛けの仕方や介助方法、指導方法を提案していただき保育園での生活がスムーズにいくように色々教えていただき感謝しています。 ・口腔マッサージの仕方や、食事の介助の仕方など実際に目の前で実践していただき丁寧に教えてもらったのでとても分かりやすかったです。 ・児童の様子や実態について尋ねられたり、質問されたりすることはあったが、助言や説明等はあまりなかった。 ・専門的スタッフが常にいてくれたら…と思う場面がたくさんあり、とても良かったです。 ・対象児のことやその周りの子どものごとも考慮してアドバイスを頂いてありがたい。 ・食事を個で食すなど、助言を頂き実行する。手づかみが少なくなり落ちついてきた。 	<p>ありがとうございます。</p> <p>いつも児童の様子を教えて下さり感謝申し上げます。私たちも支援方法についてグループ内の療法士と話し合い、次回訪問時にお伝えするようにしています。そのため、その場でお答えできないこともあり、申し訳ありません。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園側の知識や理解度に合わせて対応していただきました。 ・具体的な助言をいただき保育の参考になります。 ・初めて知ることも多く、とても勉強になりました。 ・尋ねたり、質問したりしたことについては専門性のある適切な回答をいただいた。 ・専門的なノウハウがとても役立つ時が多かった。 ・対象児や他の児童も安心して接しているのでありがたい。 ・個に合った関わりをして下さっている。 	<p>例えば訪問支援員が言語聴覚士でも、グループ内の理学療法士、作業療法士に相談をしています。アドバイスを役立てていただければありがたいです。</p>

3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児を見ながら適宜理解を示す発言をされたり、園側の困り感などについて一緒に考えて下さるなどしてありがたく感じました。 ・保育園の訪問の際はいつも快く相談にのってくださいました。 ・本児との関わり方など教えて下さって助かりました。 ・尋ねたり、質問したりしたことについては専門性のある適切な回答をいただいた。 ・その都度詳しく話してくれる為、分かりやすかったです。 ・相談しやすい方なので、どんなことでも話せてありがたい。 ・りえそんでの作動の様子など、事細かに報告してくれ、丁寧に関わって下さっている。 ・児童の発達の様子の共通理解がほとんどで、回答は具体的なものがいただけなかった。(支援の担当者がちがったため?) 	グループ内の事業所に通っている児童であれば、事業所利用時の訓練等の際に、園でのお困りの点がどのようにありうるのかも考えながら支援させていただいていますので、ご質問にもすぐに回答ができました。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の困り感などを聞き、園にも報告して下さったり、保護者の不安解消につながるアドバイスに対応して下さったりするなど園と保護者の橋渡しをしていただき負担軽減となりました。 ・不登校傾向の生徒が訪問支援があることによって登校できるようになっており、ありがたいです。 ・なちゅれさんを利用する事で本児もできることが増え大きな成長が見られ嬉しく思います。又、なちゅれさんから帰ってきたら楽しかったことや、○○したと嬉しそうに話してくれます。 ・とても助かっています。 ・課題や困りごとは、解消されたり軽減されたりしていることは多いが、それが保育所等訪問支援によるものかどうかは不明。 ・片付けや着替え等、視覚的支援を見つけた事ができた。 ・私が子どもの課題や行動で気になることが焦点化でき、児童に指導できるようになった。 ・軽減された。 ・訪問により、課題が軽減されるという状況は生まれていないが、困り感を学校外の組織と共有できることで精神的安心感があったと思います。課題や困り事は共有して支援を続けている段階であった。 	課題や困りごととは私たち訪問支援員も常にどうすれば良いかを話し合っています。課題によってはすぐに解決できないことも多々あると思います。少しずつ解消できるよう頑張っていきますので、長い目で見ていただければ幸いです。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。 ・保育園の行事等で訪問日等変更になったりもありませんが、いつも快く変更して下さりアドバイス等頂き感謝しております。今後も宜しくお願いいたします。 ・事業所とは、年2回の協議会を実施しただけで、それが支援にあたるのかわかりません。 ・より本児の事を知れたので、良かったと思う。 ・支援学級担任としても、とてもありがたい。 ・大満足です。 	ありがとうございます。担当者会議はいつでも開催できますのでお知らせください。

<p>その他のご意見</p>	<p>ご意見を踏まえた対応</p>
<p>・訪問支援員さんは、授業後の業間に学級担任等に助言等を試みられますが、担任等は授業の準備等のため、時間的に厳しいところがあります。訪問支援員さんの方でも、観察の結果を専門的に整理する時間も必要ではないかと思っています。</p> <p>そこで、助言等は訪問当日ではなく、一旦事業所に持ち帰られて、訪問先施設が参照できるように文面で提供していただくような方法も考えられるのではないかと考えています。</p> <p>・一緒に様子を見ながらやりとりする中で、対象児のことをよく理解してくださっていると感じました。やりとりの中で関わりのヒントが生まれたり、関わり方に賛同していただいたりや随分助けていただきました。ありがとうございました。</p> <p>・中学校は教科担任制ですので、授業（対象生徒の在籍ではない学級や他の学年）が入っていることが多く、せっかく来ていただいているのにお話ができないことも多く、申し訳なく思っております。丁寧に対応してくださいいつもありがとうございます。</p> <p>・毎回、気になることを質問すると、アドバイスや支援の仕方を教えていただき、とても参考になり助かりました。子どもの様子も共有でき、事業所で楽しく過ごせていることが分かります。今後とも見守り、サポートをよろしくお願いします。</p> <p>・こちらからの困りごとに対して、どのようにすると良いのか、またその理由まで丁寧に答えてくださいました。ほとんどのことが、すぐに取り入れ、実践できることだったので、対応しやすかったです。訪問支援員の方の雰囲気も良く、常に話しやすかったです。お電話での対応もスムーズでした。今年度、ありがとうございました。3月までお世話になります。</p> <p>・月に1度の訪問があるおかげで、本児との関わり方や、保育園でもできるマッサージなど知ることができ、とても助かりました。今後も引き続きよろしくお願い致します。</p> <p>・全体的に、だいたい月一回の支援訪問だったので、それがどうい支援につながっていたのかは実感がありません。ただ、学校の指導や取組がどうであるかを質問したり、意見をいただいたりすることで、児童等の関わりについて振り返りをしたり、その後の見直しをもつことができました。一年間、ありがとうございました。</p> <p>・個々の特性の特徴をふまえたうえで、これまでの経験や教科書等にあてはまらない状況が多い中、共に思考錯誤しながら支援していけたのではないかと思います。園、事業所、自宅と3ヶ所でそれぞれ違う姿を見せるので、対応が難しい場面が多かったと思う。パニック時と“イヤだ”の部分の解決策は見つからずでした。</p> <p>・初めてお会いした時に、細かく打合せをしたことで、その後がスムーズに行うことができています。いつも本当にありがとうございます。</p> <p>・いつもクラスまで迎えに来て下さり、助かっています。子どものつぶやきを上手に拾って下さり、そのやり取り、言葉かけ等も参考になります。さすがプロ（専門の方々）と感じています。ありがとうございます。</p> <p>・保育所等訪問の際、いつもアドバイスを頂き子供の成長に合わせながら私たちも勉強にもなり、指導ができるのでとても助かっています。</p> <p>・毎月来園して頂き、子ども達や対象となる園児の様子、成長と一緒に見守って頂いており、とても難しく思います。いつも親しみやすくお話ししてくださったり、助言などを頂くので、こちらもとても勉強になっています。助言頂いた事全てを実現できずにいたりで、悔しい気持ちもありますが、一緒に対象児の成長を喜べるのが非常に有難いです。</p> <p>・びーだまでは作業療法士の方が支援をされることもあるようで具体的にどんなトレーニングをしているのか、お聞きしたかった。また、実際作業療法士の方に学校に来ていただいて、支援していただけたら担任もいろいろ勉強になると思いました。</p>	<p>たくさんのご意見ありがとうございます。</p> <p>私たちもグループ内の言語聴覚士、作業療法士、理学療法士で話し合い、その子に合った療法士からの意見を参考にして先生方にお話し褪せていただいています。</p> <p>直ぐに結果が出ることではないので歯がゆい思いも多々ありますが、先生方が児童に真摯に向き合っておられる姿には、いつも感服しておりますし、私たちも勉強させていただいています。</p> <p>これからも努力を重ね、さらに成長できるよう精進してまいります。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 えびの支援センター びーだま

公表日 令和7年3月28日

利用児童数

36

回収数

17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7	1	1	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	14	2	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	17	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13	1	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	14	1	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	2	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	15	1	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16	1	0	0	とても分かりやすく、その日あった出来事や変えるべき所を教えて下さる。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	ていねいに伝えて下さるので、よく見れているんだと嬉しく思う。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11	1	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	0	1	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

	事業所名	えびの支援センター ひーだま			公表日	令和 7 年 3 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	園の先生が作成して下さるため、こちらから持っていくことはない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	今回初めての評価となる為、今後は改善に繋げていきたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	2人で訪問の際は事前打ち合わせを行っている。 担当変更の場合は、申し送りを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	園の方針と支援の内容をすり合わせている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	○	同じグループ内の専門職でのケース会議を開催し、助言をもらっている。	外部研修に関しては参加できていない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		家族に対しての研修の機会や紹介はできていない。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		保護者への面談等で周知する	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		保護者への面談等で周知する	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 えびの支援センター びーだま

公表日 令和 7年 3月 28日

利用児童数

11

回収数

8

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	3	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	1	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	1	1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 えびの支援センター びーだま

公表日 令和 7年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		社協開催の子ども食堂に参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		3月に保護者交流会を予定	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			面談の際に話す予定
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				